# バックキャスティングによる
# 滋賀のサスティナビリティの同時達成

ターゲット4.7を例として


チームF

成安造形大学　草野　百佳

滋賀県立大学　中野　佐統史

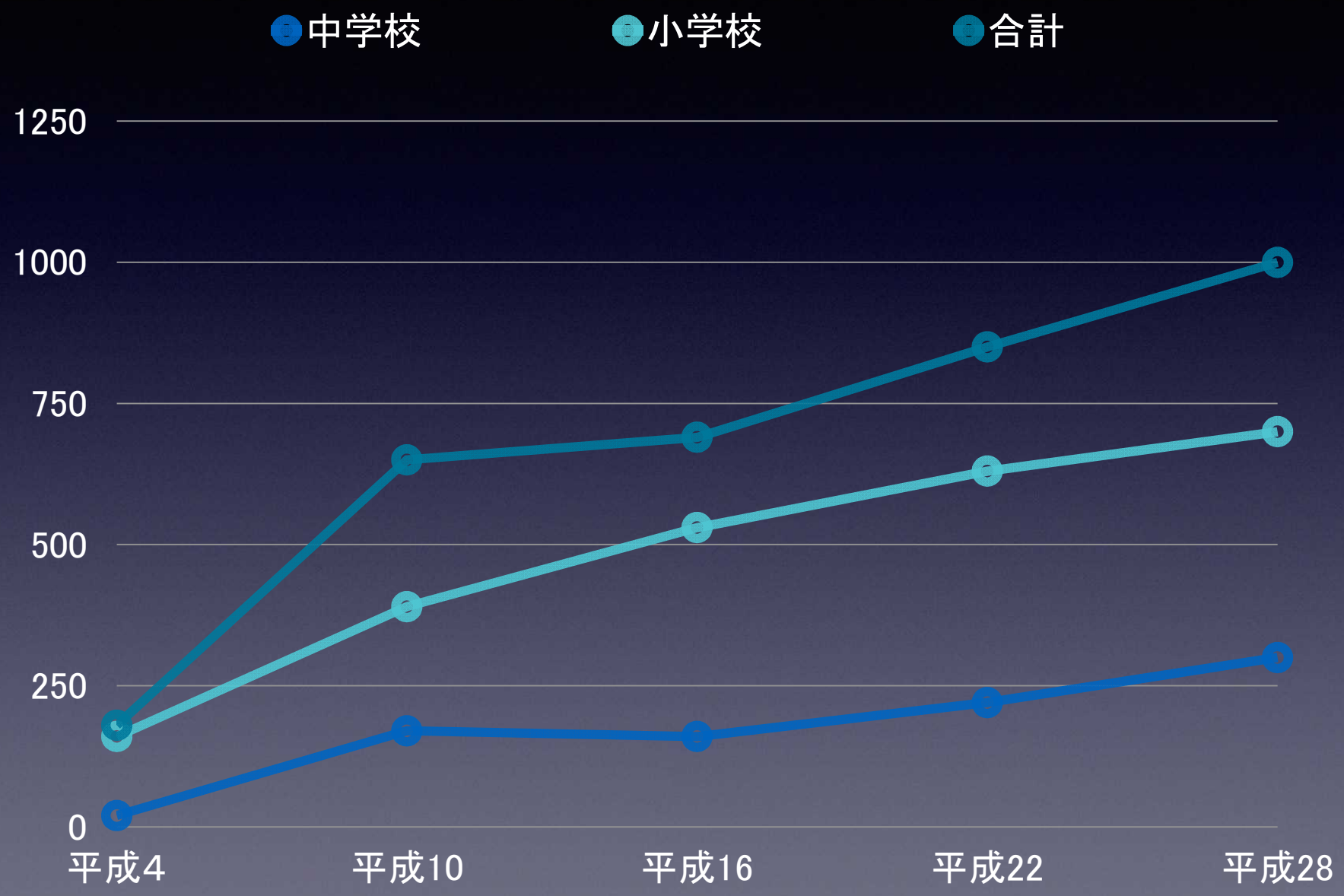
慶應義塾大学　中丸　かれん

慶應義塾大学　和田　恵

慶應義塾大学　史　可

外国人児童を事例とし、
SDGs4.7を達成するための
滋賀版ターゲットと指標を考察した

# 着目した滋賀の課題




日本語指導が必要な外国人児童生徒数の増加

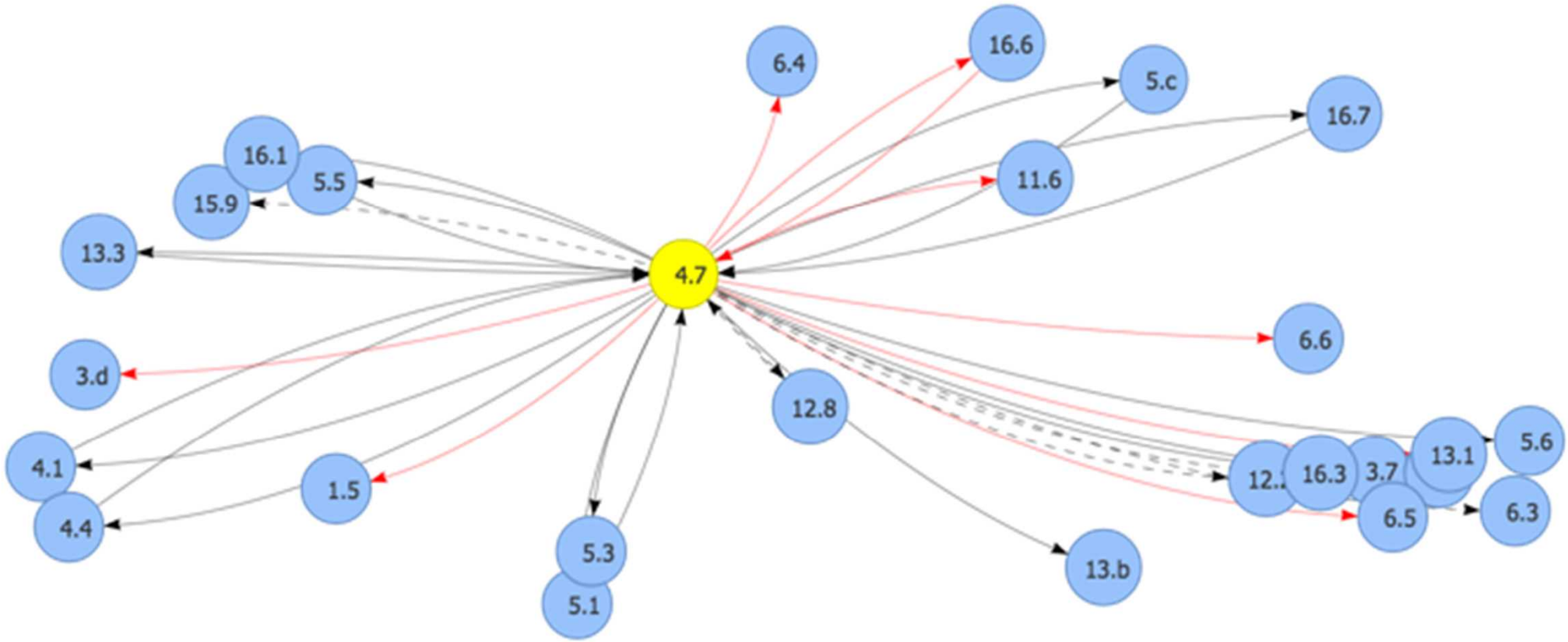
## ・外国人児童の学習環境改善の必要性

　自分の小学校では100人強くらいのうち、外国人児童数は10人ほどであり、外国籍の方と一緒に生活してきた。全く日本語を喋れない友達もおり、日本語が母語ではない方と日本人の学力は顕著に現れていた。実際自分の中学では日本語教室があったりと、彼らをサポートする環境が作られていた。

# 4.7の目指している滋賀を作る

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能な ライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発へ の貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を 促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

# 4.7インターリンケージ



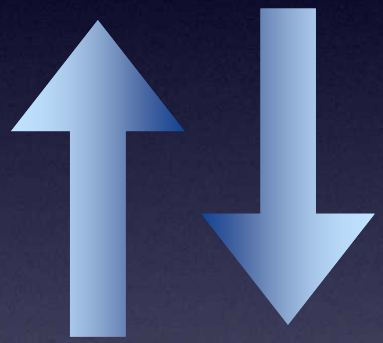
# ターゲット

# 指標

4.7

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能な ライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、 グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発へ の貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を 促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

4.7.1 ジェンダー平等および人権を含む、(i)地球市民教育、及び(ii) 持続可能な開発のための教育が、（a）各国の教育政策、(b) カリキュラ ム、(c) 教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、 全ての教育段階において主流化されているレベル



8.8

移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にあ る労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境 を促進する。

8.8.1 致命的及び非致命的な労働災害の発生率（性別、移住状況 別）

8.8.2 国際労働機関（ILO）原文ソース及び国内の法律に基づく、労 働権利（結社及び団体交渉の自由）における国内コンプライアンスの レベル（性別、移住状況別）

# 8.8の現状

県内の外国人労働者数と雇用事業所数の推移

工場勤務に高卒就職した友人が、外国人労働者に仕事を指導する、管理するという仕事に就いたけれど、外国人労働者とのコミュニケーションを上手く取ることが出来ずに指導することが難しく、外国人労働者と働くことにストレスを感じている。

# 滋賀の場合

# ターゲット

2030年までに、すべての県民へ持続可能な開発のための教育の推進

・男女平等

・人権

・異文化理解

・文化多様性

・グローバル・シチズンシップ

・水を含む環境教育

を通じて、すべての学習者が持続可能性の達成のために必要な知識及び技能を習得

4.7

# 指標

外国につながるこども達を測る指標としては・・・

4.7.1.　日本語指導が必要な子供たちが適切な教育を受けている割合

4.7.2. 外国につながる子どもたちの成績

4.7.3. 異文化間理解教育の数

8.8

移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者とその家族の権利を保護し、安全・安心な滋賀での労働環境とその住生活を促進する。

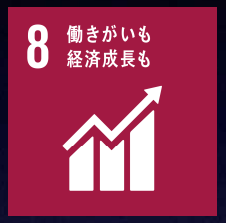
8.8.1 移住労働者の相対的貧困率

8.8.2 国際労働機関（ILO）原文ソース及び国内の法律に基づく、労働権利（結社及び団体交渉の自由）における国内コンプライアンスの レベル（性別、移住状況別）と意欲的な企業数

8.8.3.  県民や事業者の多文化共生への関心度

8.8.4. 移住労働者の日本語話者数の推移、コミュニケーションにおける摩擦の減少

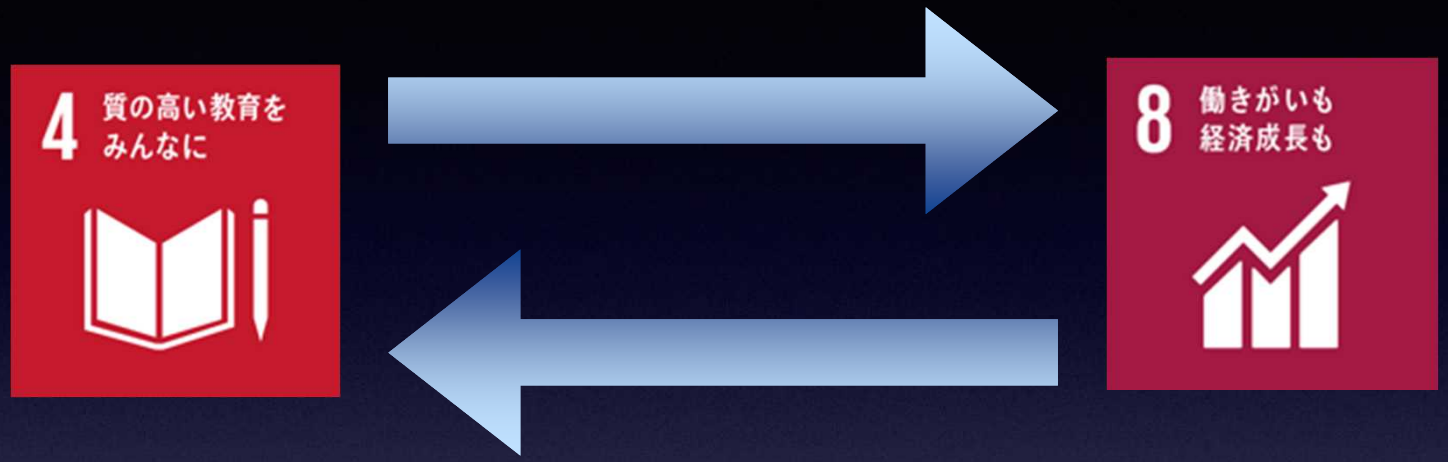
# アクション例




- 外国人労働者不安定（仕事環境）

- 言語→ミスコミュニケーション

- ITを活用した翻訳など




子どもの安定　　親の安定

外国人児童を事例とし、SDGs4.7を達成するための
滋賀版ターゲットと指標を考察した。
今後は、本プレゼンテーション中の手法を活用した、
他のターゲットとのリンケージを同定しながら、
「誰も取り残さない」政策パッケージの実現が求められる。

ご静聴ありがとうございました